

## 東日本大震災における 義援金及び支援物資のお礼

このたびの東日本大震災において、被災なされた方々に心からお悔やみ申し上げますとともに、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りいたします。

昭和村では、3月16日から6月30日までの間、東日本大震災への義援金の募集を、また3月17日から28日までの間、被災地への支援物資の募集をしたところ、大勢の村民の皆様や企業・団体の方から、たくさんのご厚意をいただきました。ご協力、誠にありがとうございました。

皆様からお預かりしました義援金 総額 5,528,461 円 につきましては、上毛新聞社を通じて日本赤十字社へお届けいたしました。

また、ご提供いただきました支援物資につきましては、群馬県を通じ被災地に届けるとともに、昭和村に県外から避難してこられた方々に対し、支援物資の提供を行いました。群馬県の物資受入が終了した後は、昭和村として福島市の避難所に支援物資を届けて参りました。更に、10月には宮城県亘理町や、被災地で活動している団体及び放射性物質の除染活動をしている南相馬市の小学校のPTAに送りまして、お預かりいたしました全ての支援物資を被災地にお届けすることができましたので、ご報告いたします。

支援物資の受け付けと仕分けに協働して取り組んでいただいた昭和村社会福祉協議会、昭和村ボランティア協議会、また多くのボランティアの方々に心から御礼申し上げます。

末筆になりましたが、村民の皆様のこれまでのご支援、ご協力に改めて感謝申し上げ、お礼とさせていただきます。

平成 23 年 12 月 7 日

昭和村長 加藤 秀光

ボランティアの皆様、仕分け作業お疲れ様でした



## 義援金

募金箱(庁舎内及びイベント設置)	484,018 円
企業・団体・個人の皆様より	30件 5,044,443 円
<b>合計</b>	<b>5,528,461 円</b> (上毛新聞社経由)

なお、募集期間終了後、昭和村農業研究会より秋まつりの売り上げ 74,667 円 を義援金としてお預かりしました。日本赤十字社へ直接送金いたします。

## 支援物資

支援物資提供件数  
村民の皆様や企業・団体より  
のべ355件

支援物資送付件数  
群馬県を通じ被災地へ…3回  
(毛布・日用品・おむつほか)

クリーニング協会を通じ被災地へ…2回  
(中古衣類)

昭和村から

- 福島市避難所へ…1回(夏物新品衣類)
- 宮城県亘理町へ…1回(秋物新品衣類)
- SAVE IWATE(所在地:盛岡市)へ…1回(中古ストーブ10台・炊飯器1個)
- 福島県南相馬市立大甕小学校 PTA へ…1回(放射性物質除染用タオル 1000 枚)
- NPO 法人やすらぎ福祉会(所在地:八戸市)へ…1回(冬物衣類ほか)



3月：集まった支援物資のほんの一部です。  
たくさんのご支援ありがとうございました。



5月：福島市の避難所に夏物衣類を12箱お届けしました。



10月：秋になりストーブの募集がありました。  
北東北のしばれる冬が、少しでも暖かく過ごせますように。

謹啓 初霜の候 貴殿におかれましては益々ご清栄のこととお喜  
し上げます。

日頃、本町行政の推進につきまして、格別のご指導ご協力を賜り厚  
くお礼申し上げます。

さて、このたびの東日本大震災にあたりましては、被災した町民に  
対し心のこもった支援物資をいただき、ご厚情のほど大変ありがたく  
心より感謝申し上げます。

ご承知のとおり、平成二十三年三月十一日に発生した東北地方  
太平洋沖地震は、国内観測史上最大のマグニチュード九・〇を記録し、  
宮城県を含む太平洋沿岸地域を中心に、これまで経験したことのない  
未曾有の大災害をもたらしました。

本町におきましても、多くの町民の尊い生命と貴重な財産を一瞬に  
して失うとともに、役場庁舎をはじめとする公共施設や基幹産業であ  
る農業・漁業関連施設等にも甚大な被害を受けました。そして  
今、この信じられない出来事を直視しつつも、まらの復旧復興に向け新  
たな一歩を踏み出したところであります。被災された方々が一日も早く  
被災前の生活に戻れるよう、町民と力を合わせ一丸となってこの難局を  
乗り越えて参りたいと考えております。

この先、復興にはかなりの時間を要するものと思われませんが、いつか  
また、復興した亘理町を訪ねていただければ幸いに存じます。

最後になりますが、貴殿の益々のご健勝をお祈り申し上げ、お礼の  
ごあいさつといたします。

謹白

平成二十三年十一月吉日

宮城県亘理町長 齋藤 邦 男



